

# Drug Information

No.445

ルミエール病院 薬剤科  
医薬品情報管理室 発行

## ◆高血圧症・狭心症・不整脈・本態性振戦治療剤:アロチノロール塩酸塩錠の ニトロソアミン化合物の検出

アロチノロール塩酸塩錠から、欧州当局のガイドラインに準じて算出された許容限度値を超えるニトロソアミン化合物が検出されました。ニトロソアミン類はアミン類と亜硝酸塩から生成する化合物であり、生体内で酸化されアルキルカチオンに変化し、DNA と反応して損傷させることにより、発がん性を示すことがあると考えられています。一方、ニトロソアミン類は、日常生活においても一定量のニトロソアミン類を摂取されています。現時点においては、すでに市場に流通しているロットについては、海外ガイドラインに基づき設定した暫定管理値（335ppm）を下回ることから、処方中止や変更等の措置は必要ないと判断されています。

## ◆非ステロイド性消炎・鎮痛剤:メロキシカム錠5mgの「劇薬」指定の解除

厚生労働省より、劇薬の指定が解除されることになりました。

## ◆めまい・平衡障害治療剤:ミオナール錠50mgの販売移管

2025年4月1日より、エーザイから科研製薬へ販売移管されました。

## ◆限定出荷解除

下記5品目が限定出荷解除となりました。

- ネオパレン1号・2号輸液
- イソジンガーグル液7%・イソジン液10%・イソジンゲル10%

## ◆帯状疱疹ワクチンの定期接種に伴う不活化ワクチンの採用

帯状疱疹ワクチンの定期接種に伴い、生ワクチンに加えて不活化ワクチンも採用となります。

- 【用時購入(予約)】不活化(組み替え)ワクチン:シングリックス筋注用0.5ml GSK
- 【用時購入(予約)】生ワクチン:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」0.5ml 田辺三菱

## ◆カルバペネム系抗生物質製剤: メロペネム点滴静注用0.5gの 限定出荷品(ニプロ)から通常出荷品(トーワ)への切り替え

メロペネム点滴静注用については限定出荷が継続していることから、安定供給可能なトーワへ切り替えとなります。

●メロペネム点滴静注用0.5g 「NP」ニプロ (薬価: 656/V)

→ メロペネム点滴静注用0.5g 「トーワ」東和 (薬価: 656/V)

## ◆ネオ兼一消アルAの出荷停止に伴う代替品への切り替え

ネオ兼一消アルAの出荷停止に伴い、ネオ消アル「ヨシダ」を一時的に採用していますが、再開に相当な時間を要することから、ネオ消アルへ切り替えとなります。

●後発品:ネオ兼一消アルA 兼一 (薬価:6.8/10ml) 採用中止

→ **ネオ消アル「ヨシダ」** 吉田製薬 (薬価:6.8/10ml) 新規採用

## ◆ブドウ糖50%20mLの期限切れによるメーカー変更

ブドウ糖50%20mLについては処方頻度が少なく期限切れになることがあることから、下記メーカーへ切り替えとなります。

●大塚糖液50%20mL 50A包装 大塚工場 (薬価: 100/A)

→ **ブドウ糖注50%20mL PL「フソー」10A包装** 扶桑 (薬価: 100/A)

## ◆ニトログリセリン舌下スプレー剤: ミオコールスプレーの出荷停止 に伴う採用中止

処方実績がないミオコールスプレーが出荷停止となったことから、採用中止とします。

●定量噴霧式ニトログリセリン舌下スプレー剤: ミオコールスプレー0.3mg (採用中止)

→ 【代替薬】舌下錠: **ニトロペン舌下錠0.3mg** (既採用薬)

## ◆持続性ドーパミン作動薬: フロモクリプチン錠2.5mgの販売中止 に伴う採用中止

処方実績がないフロモクリプチン錠が販売中止となったことから、採用中止とします。

●持続性ドーパミン作動薬(麦角系): フロモクリプチン錠2.5mg (採用中止)

→ 【代替薬】ドーパミン作動薬(非麦角系): **ビ・シフロール錠0.5mg** (既採用薬)

## ◆希塩酸「マルイシ」500mlの販売中止

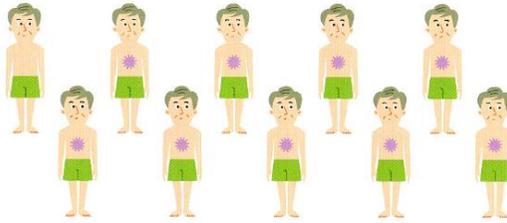
【院内製剤】塩酸リモナーゼの構成処方である希塩酸が販売中止となったことから、採用中止とします。

帯状疱疹は、多くの人が子供のときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。

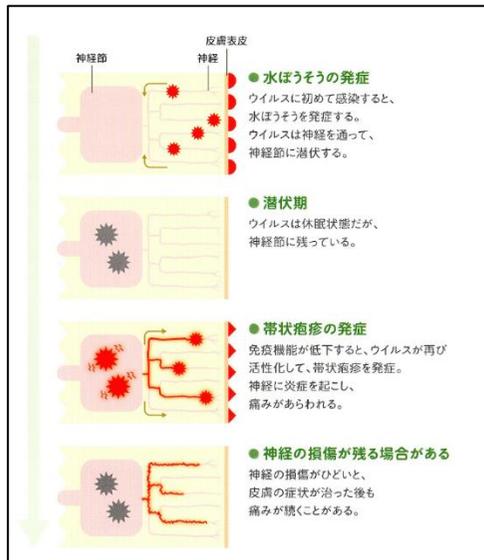
水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏していて、過労やストレスなどで免疫機能が低下すると、ウイルスが再び活性化して、帯状疱疹を発症します。

発症すると、皮膚の症状だけでなく、神経にも炎症を起こし、痛みがあらわれます。

神経の損傷がひどいと、皮膚の症状が治った後も、痛みが続くことがあります。



日本人成人の**90%以上**は、このウイルスが体内に潜伏していて、帯状疱疹を発症する可能性があります。



帯状疱疹は、水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）の再活性化によって引き起こされる



1  
水痘の一次感染：  
水痘（みずぼうそう）<sup>1</sup>

VZV感染による水痘は、通常、小児期に発症し、多くの場合、全身の水疱性発疹として現れます。



2  
潜伏感染<sup>2-5</sup>

一次感染により細胞性免疫が誘導され、その後の感染や再活性化を防ぐと考えられています。一次感染したVZVは潜伏感染を成立させます。



3  
再活性化：帯状疱疹<sup>1,3,6</sup>

潜伏していたVZVが後年再活性化し、特徴的な皮膚発疹および疼痛を引き起こすことがあります。